

「第5回市民と市長のふれあいトーク」対話概要

団体名	袖ヶ浦ロータリークラブ
実施日時	平成28年8月8日(月)午後0時30～1時40分
実施場所	菜心味袖ヶ浦店
出席者	袖ヶ浦ロータロークラブ 22名 市長・秘書広報課 2名

1 市長説明

「袖ヶ浦市の現状と展望について」

【説明項目】

- 市勢の状況
- これまですすめてきた将来の発展に向けたまちづくり
- 第3期実施計画 重点的取組
- 未来をひらく袖ヶ浦創生プラン
- わがまちの誇り

2 意見交換

【意見交換の概要】

ロータリー：市の作成したPR用VTRを見ましたが、良くできていて、対岸で配布した場合の効果も高いと思いますが、長浦地区の海苔やアサリが出てこないの、入れてもらえるとありがたいです。

市長：VTRに何を含めるのかは、いろいろ検討をして決めました。今は漁業権を放棄しており海苔やアサリが取れませんので、それを含めるのは困難です。VTRは、総合編、子育て・教育編、観光編、企業誘致編の4編からできていますが、歴史的にどのようなことがあったのかということは、郷土博物館でまとめたり、展示したりすることがありますので、今後どのようなことができるのか考えてみます。



ロータリー：袖ヶ浦市では駅前の商店街が閉鎖されてしまい、近隣市と比較しても大変暗い感じがします。何か対策をお願いします。

市長：駅前の活性化については、どこの市町村でも課題となっており困難なものです。駅が交通手段の拠点だった従来に比べ、マイカーでの移動が多い現在社会において、何か魅

力的な商品やサービスといったものがないと、駅前に人は集まりません。誰がどのように構築するかということが問題なのですが、商店の方達の工夫が必要であり、そこに行政がどう加わっていくのかも課題なのです。袖ヶ浦駅海側区画整理事業内では、(株)新昭和が商業施設の建設等を計画し、今秋頃には計画を発表する予定ですし、マンションの計画についても発表が予定されています。新しい魅力については袖ヶ浦駅の海側が一つのポイントとなっています。既存の場所についての活性化は、なかなか進みません。行政が誘致をするということは困難な点がありますので、商工会の融資制度を設けましたので、それを活用するなどして、商店や企業の方に頑張ってもらって積極的に進出してもらいたいと思っています。また、一過性のイベントではなく恒常的な催し等も作り上げてもらいたいと思います。

ロータリー：保育所が無くなるということを知りましたが、どこの保育所が無くなるのでしょうか。

市長：幼稚園のことです。公立の幼稚園は今井幼稚園と中川幼稚園の2園がありますが、幼稚園への入園希望者は年々減少し、現在では2園合わせても定員の約50%ほどとなっています。現在の子育て世代では、社会参加と就業を目指す方が多いなか、幼稚園は4時間保育なので就業がしにくいという点があります。教育はしてもらいたい、保育もしてもらいたいという希望が増えたことから、公立幼稚園を統合します。今井幼稚園は耐震対策も進んでいませんし、用地も狭いことから中川幼稚園に統合し、遠方からの通園を望む方のために送迎バスを準備し備えをしていきます。また、民間の幼稚園は長浦地区に集まっていますので、その他に袖ヶ浦駅海側に、保育所と幼稚園の両方の機能を併せ持つ定員240名程の認定こども園の誘致を進めています。



ロータリー：いつごろに統合する予定ですか。

市長：平成30年度に認定こども園をオープンし、平成31年度の統合を予定しています。

ロータリー：認定こども園は、学校の扱いになるのですか。

市長：市では、学校教育課と子育て支援課の両課で対応しています。例えば、幼稚園に入園した後に、就労したいから保育所に入れたいとか、保育園に入れたいが、教育もしてもらいたいといった保護者の皆様の様々な状況変化やニーズに対処できるようにするとともに、保育所の園児のカリキュラムの見直しもしています。